

# 半導体漫遊記

## 湯之上隆

(216)

ルネサスは6月25日、呉文精氏が30日付で社長を退任し、7月1日に柴田英利氏が社長兼CEOに就任することを発表した。呉氏は3月末の取締役会で社長に再任されたばかりだったため、たった3カ月での退任に「なぜこのタイミングなのか?」という疑問の声が上がっている。

さらに呉氏は3月20日の株主総会で、市況低迷により国内外の全

を止めるといのは前代未聞で「愚策中の愚策」としか言いようがない。一度停止した半導体工場を再立ち上げするのは、とてつもなく大変だからだ。そのため筆者は「半導体工場を止めるなどという暴挙を犯すな」という

一体「特需」とは何かと思っていたら最近、信頼できる筋からの話で判明した。ルネサスは5月と8月に合計2カ月、半導体工場を止めて1万人の社員を帰休させる際の給料を、茨城県の近い那珂川を水源にして

# ルネサスの呉氏なぜ社長退任

# 当てにした「特需」消滅

13工場の生産停止を発表した。国内では、ルネサス主力の那珂工場を中心

13工場の生産停止を発表した。国内では、ルネサス主力の那珂工場を中心

記事を書きまくった。定だったらしい。要するに、ルネサスはその経営難を茨城県の税金で乗り切るつもりだったのである。つまり、これが「特需」の正体である。

呉氏は、ここ2年で米半導体メーカー2社を約1兆円で買収。その一方で2月には、業績悪化のため従業員の5%に相当する約1000人をリストラした。どうも経営がちぐ

米半導体メーカー2社を約1兆円で買収。その一方で2月には、業績悪化のため従業員の5%に相当する約1000人をリストラした。どうも経営がちぐ

「特需」が止まると、ルネサスには工場停止により「特需」があるんだよ。外野は黙っている」というようなことを言われた。

13工場の生産停止を発表した。国内では、ルネサス主力の那珂工場を中心

13工場の生産停止を発表した。国内では、ルネサス主力の那珂工場を中心

記事を書きまくった。定だったらしい。要するに、ルネサスはその経営難を茨城県の税金で乗り切るつもりだったのである。つまり、これが「特需」の正体である。

13工場の生産停止を発表した。国内では、ルネサス主力の那珂工場を中心

13工場の生産停止を発表した。国内では、ルネサス主力の那珂工場を中心

記事を書きまくった。定だったらしい。要するに、ルネサスはその経営難を茨城県の税金で乗り切るつもりだったのである。つまり、これが「特需」の正体である。

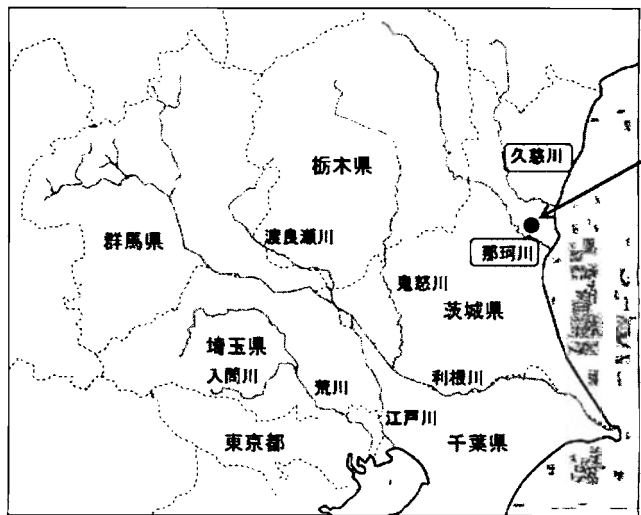


図1 ルネサス那珂工場と那珂川の位置関係

出所: 関東農政局 <http://www.maff.go.jp/kanto/nouson/sekkei/kokuei/toncho/shizen/02.html>

ルネサスが当てにしていた「特需」は、消滅したと考えられる。

結局、呉氏が画策した茨城県の税金による「特需」は絵に描いた餅となり、経営難は一向に解消せず、ルネサスが諮問機関として設置している指名委員会からダメ出しを食らい、辞任せざるを得ない状況に追い込まれたのだろう。結局、人間の浅知恵など自然災害には勝てないということである。(微細加工研究所・所長)